

# 愛知に伝わる浦島太郎伝説の町

## たけ とよ ちよう ふ き 武 豊 町 の 富 貴

### 武豊町の富貴とは

愛知県の地図でいう、カンガルーの足に位置する町、武豊町は主に、みそ・たまりが有名である。

しかしその他にも武豊町の富貴という町では日本各地に数多く存在している、「浦島太郎伝説」が古くから言い伝えられている。

今回は「富貴」の地名の由来とされている浦島太郎伝説との関わりについて紹介していきたいと思う。



知里付神社には、浦島太郎が竜宮城から帰る際に乙姫様から贈られたとされる、玉手箱が所蔵されているという。

### あの玉手箱が存在する？

### 浦島太郎の老家

富貴(旧富貴村)には古い地名に、負亀(おぶかめ)という地がある。

その昔、浦島太郎は武豊町の東大高で生まれ、富貴の海岸で亀を助けたといわれている。そこで、「亀に負ぶさつて」という意味から負亀という地名が付き、後にこの字の音読みが「ふき」と読まれ、現在の地名「富貴」と書きかえられたという。

その他にも、浦島太郎を迎えたといわれる「乙姫橋」や浦島太郎が竜宮城に向かう際に渡ったとされる「浦島橋」が存在している。

### 竜宮城を偲ぶ浦島太郎

現在の竜宮保育園に隣接する竜宮神社。  
小さな祠が存在している。



### 今も残る亀の墓

東大高にある真楽寺では、浦島太郎が助けたとされる亀の墓が残されている。(写真中央)